

平成30年度 環境活動レポート

(平成30年4月～平成31年3月)

《本社事務所》

《建設現場》



令和元年8月30日

大阪装置建設株式会社

■ 事業活動の概要

- 1) 事業所名 大阪装置建設株式会社
- 2) 代表者 代表取締役 伊與木正晴
- 3) 所在地 本社 大阪市西淀川区姫島3-11-27
- 4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	環境管理責任者	河井青史
担当者	EA21事務局	河井青史
連絡先	Tel.06-6477-9321 Fax.06-6477-9176	
- 5) 事業の内容 都市ガス工事をはじめ、各種プラント建設、エネルギー設備、燃焼設備、水門、高層煙突等の設計製作・現地工事を行っています。
- 6) 事業の規模

① 資本金	50百万円
② 設立	昭和26年9月
③ 従業員	77名
④ 床面積	5,538㎡
⑤ 売上高	4,351百万円（平成30年度）

■ 対象範囲

- 1) 認証・登録範囲
 - ① 登録組織名 大阪装置建設株式会社
 - ② 活動内容 都市ガス配管工事、各種産業機械据付工事
- 2) レポートの対象期間及び発行日等
 - ① 対象期間 平成30年4月～平成31年3月
 - ② 発行日 令和元年8月30日
 - ③ 対象組織と活動内容 認証登録範囲と同じ

■ 主要な環境負荷排出量（CO2総排出量、廃棄物総排出量、総排水量）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂)	本社事務所	144,121	156,169	143,736
	建設現場	115,438	126,642	133,384
	計	259,559	282,811	277,120
廃棄物総排出量 (t)	本社事務所	3	4	3
	建設現場	2,801	2,291	714
	計	2,804	2,295	717
総排水量 (m ³)	本社事務所	1,322	1,421	1,147
	建設現場	0	0	0
	計	1,322	1,421	1,147

* 購入電力のCO₂排出係数は、平成27年度(株)新出光の係数0.488kg-CO₂/kwhを使用。

環 境 方 針

大阪装置建設株式会社本社事務所は、本社建屋内における建設・設備事業等を行う総合エンジニアリング企業としての活動が、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

- 1 事業活動に関わる環境関連の法規・条例及び大阪ガス株をはじめとする顧客の環境方針の要請事項を含むその他の要求事項を遵守します。
- 2 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - 1) 省エネルギーと温暖化ガスの発生抑制に努めます。
 - 2) 省資源の促進を図ります。
 - 3) 廃棄物の削減及び適正処理に努めます。
 - 4) 節水の推進を図ります。
 - 5) グリーン購入の推進を図ります。
 - 6) 設備工事による環境負荷削減に努めます。
 - 7) 周辺地域に対する環境改善に努めます。
 - 8) 化学物質の適正管理に努めます。
- 3 この環境方針は、全従業員に周知します。

平成30年4月1日

大阪装置建設株式会社

代表取締役社長

伊與不正晴

平成30年度 環境活動レポート

《本社事務所》

(平成30年4月～平成31年3月)

2. 環境目標とその実績等

①環境負荷低減目標(環境目標設定)とその実績値

項目	平成29年度 実績	平成30年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 目標	令和2年度 目標	令和4年度 目標
電力使用量の削減 (kWh)	183,286	222,364	163,039	220,095	217,826	213,288
都市ガス使用量の削減 (Nm ³)	15,084	16,002	12,824	15,829	15,655	15,307
ガソリン消費量の削減 (L)	14,216	17,164	15,293	16,976	16,787	16,410
CO ₂ 排出量の削減 (kg-CO ₂) *1	156,169	234,916	143,736	232,334	229,753	224,590
一般廃棄物単純焼却量の削減 (kg)	780	1,546	684	1,529	1,513	1,481
水使用量の削減 (m ³)	1,421	1,860	1,147	1,840	1,819	1,778
コピー用紙購入量の削減 管理 (kg)	125	121	115	120	118	116
コピー用紙購入量の削減 ガス (kg)	1,335	2,197	850	2,173	2,148	2,100
コピー用紙購入量の削減 プラント (kg)	638	1,392	688	1,377	1,362	1,331
化学物質の適正管理 (%) *2	100	100	100	100	100	100
環境配慮商品購入比率の向上 (%)	99	85	78	86	87	89
周辺地域清掃活動の推進 (回)	12	12	12	12	12	12

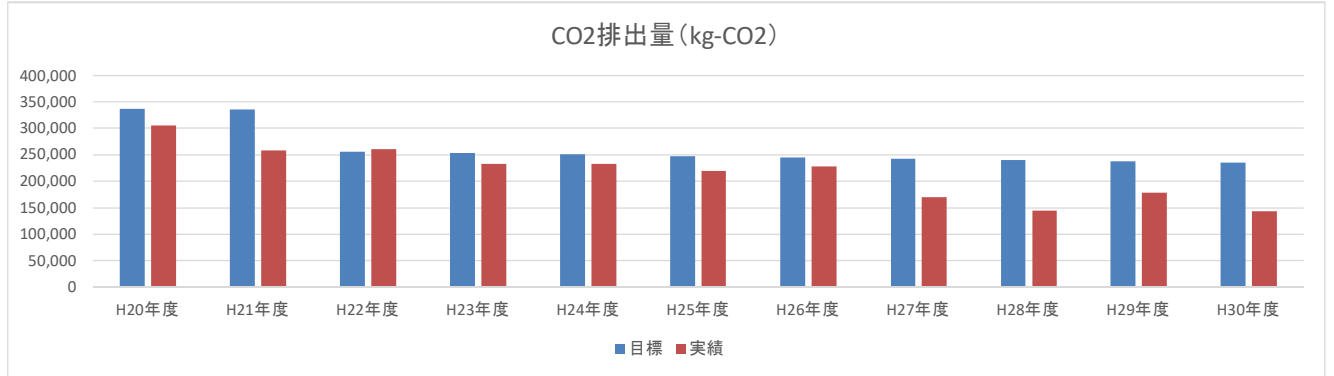
*1 購入電力のCO₂排出係数は、平成27年度(株)新出光の係数0.488kg-CO₂/kwhを使用。

*2 使用化学物質の使用量を把握し、その中で当該化学物質に含有するPRTR法(化管法)の対象物質の量をSDSを基に算定把握しているが、算定把握対象物質数に対する実施数割合を%で表示。

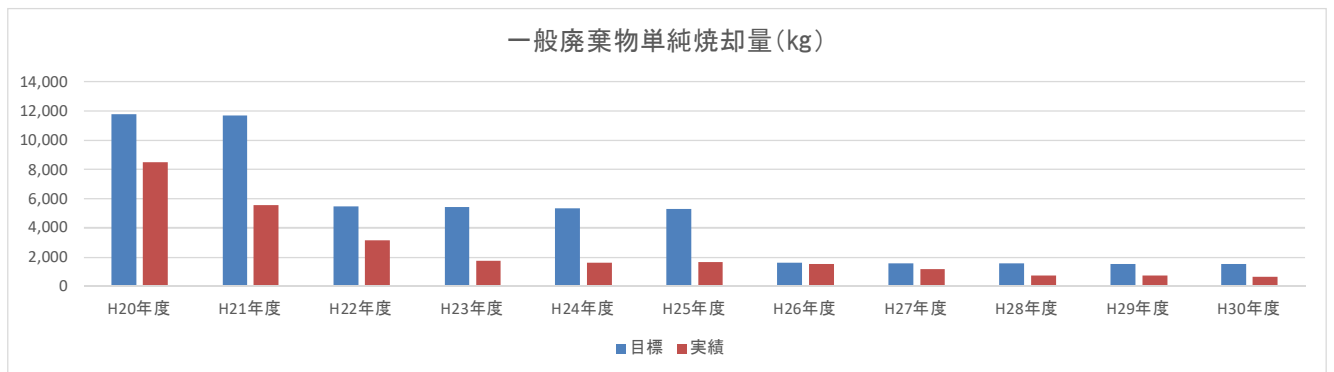
②主要な環境負荷排出量

項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	目標	337,464	335,751	255,568	252,986	250,405	247,823	245,242	242,660	240,079	237,497	234,916
	実績	306,031	258,149	260,451	233,141	232,845	218,938	227,756	170,161	144,121	178,337	143,736

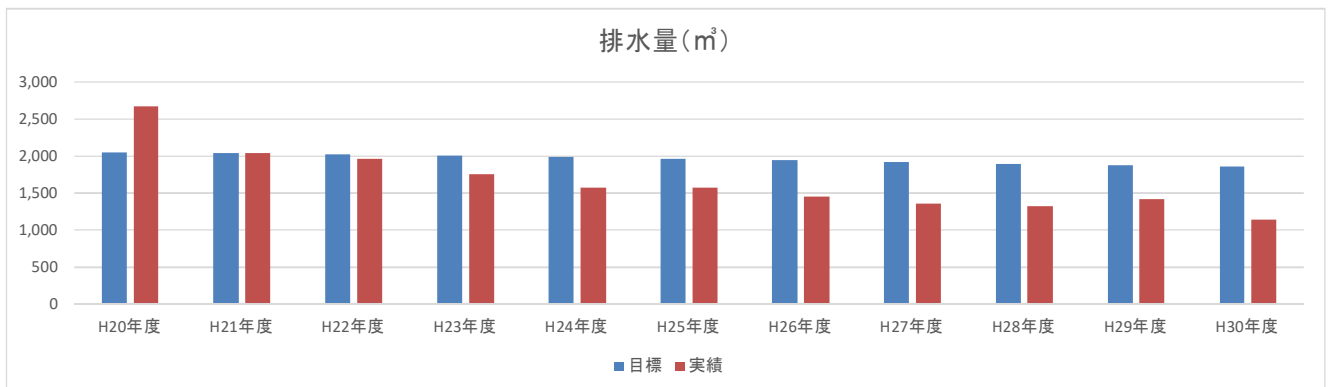
* 購入電力のCO₂排出係数は、平成27年度(株)新出光の係数0.488kg-CO₂/kwhを使用。



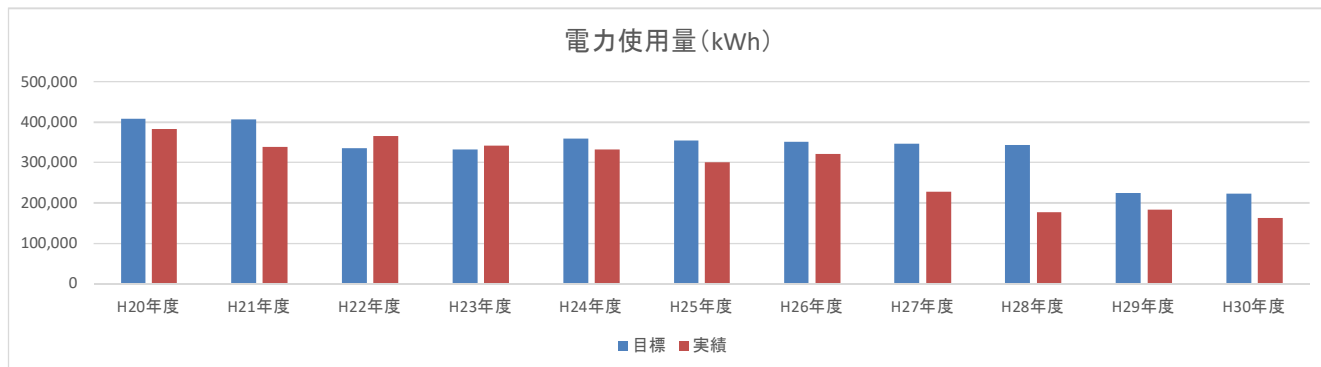
項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
一般廃棄物単純焼却量 (kg)	目標	11,753	11,693	5,487	5,431	5,376	5,320	1,611	1,594	1,578	1,562	1,546
	実績	8,482	5,542	3,178	1,738	1,627	1,692	1,531	1,177	744	780	684



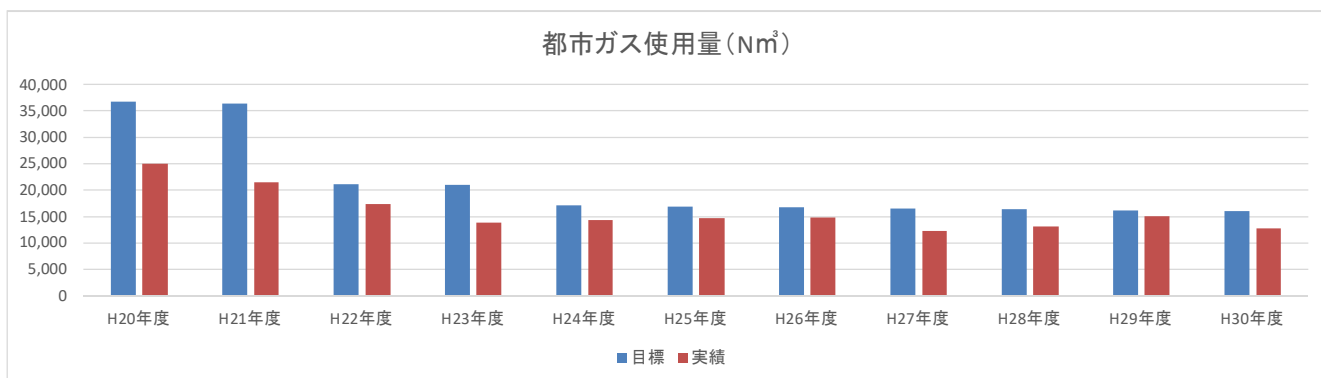
項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
排水量 (m ³)	目標	2,055	2,044	2,024	2,003	1,983	1,962	1,942	1,921	1,901	1,880	1,860
	実績	2,672	2,044	1,964	1,753	1,574	1,574	1,450	1,356	1,322	1,421	1,147



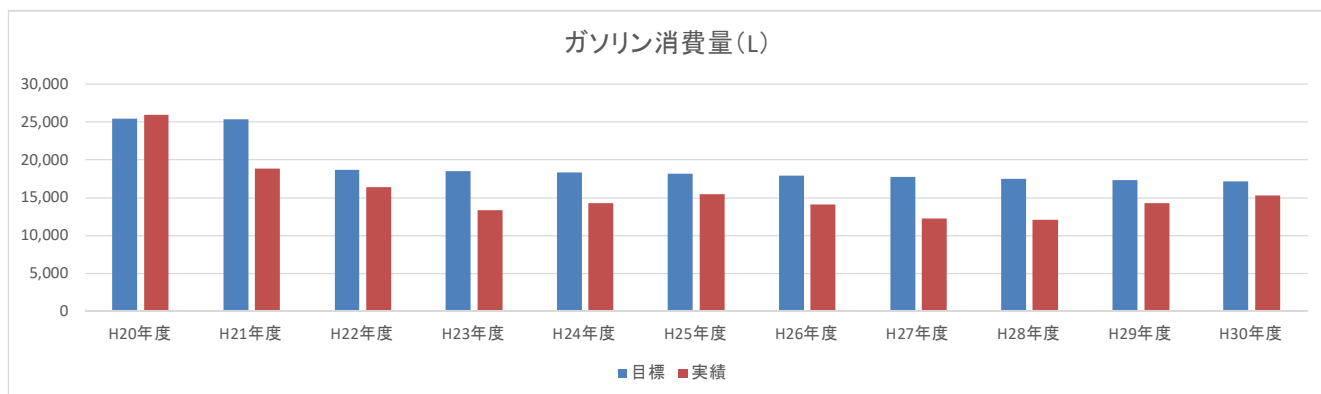
項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
電力使用量(kWh)	目標	408,081	406,009	335,855	332,462	358,050	354,396	350,743	347,089	343,436	224,633	222,364
	実績	382,218	339,247	365,357	342,707	332,191	299,913	320,351	226,902	177,632	183,286	163,039



項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
都市ガス使用量(Nm ³)	目標	36,653	36,467	21,210	20,996	17,046	16,872	16,698	16,524	16,350	16,176	16,002
	実績	25,014	21,424	17,394	13,866	14,299	14,726	14,764	12,298	13,109	15,084	12,824



項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
ガソリン消費量(L)	目標	25,469	25,340	18,673	18,485	18,296	18,108	17,919	17,730	17,542	17,353	17,164
	実績	25,999	18,862	16,345	13,411	14,273	15,437	14,118	12,269	12,117	14,216	15,293



3. 主要な環境活動計画の内容

	取組項目	活動計画の内容
CO ₂ の排出量の削減のために	電力使用量の削減	省エネ照明器具の設置 昼食時及び不使用区画の消灯
	都市ガス使用量の削減	夏季冷房温度設定27℃ 冬季暖房温度設定21℃ エアコンフィルターの清掃
	ガソリン消費量の削減	エコドライブの徹底 車両台数の削減 低燃費車の導入
	一般廃棄物単純焼却量の削減	分別収集の徹底 リサイクルへの転用
	水使用量の削減	節水の徹底 漏水点検の実施(月1回)
	コピー用紙購入量の削減	両面印刷(コピー)の励行 コピー用紙の裏紙使用 メール・社内LANの有効利用によるペーパーレス化の促進 プロジェクターの使用による会議資料の削減 FAXのPCによる使用
	化学物質の適正管理	PRTR法対象化学物質使用量の把握とその化学物質の適正管理
	環境配慮商品購入比率の向上	環境配慮商品の購入
	周辺地域清掃活動の推進	月1回実施

主要な環境活動のご紹介（本社事務所編 ①）



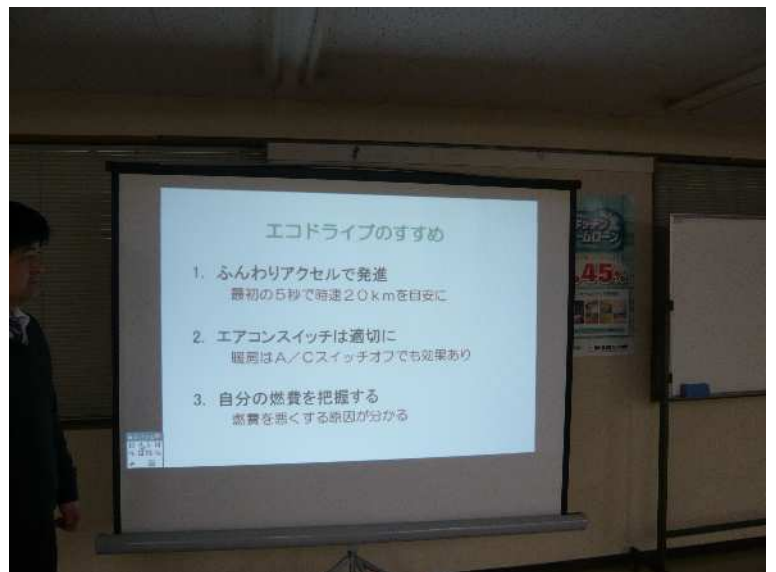
昼食時及び不使用部屋の消灯

事務室は、昼休みの1時間及び終業後、残業者がいない区画について消灯しています。

又、会議室やトイレなども使用していないときは消灯するようにしています。

エコドライブの推進

エコドライブについての研修会を行い、社有車を運行する者に対してエコドライブの実施方法や実施による効果について教育しています。



分別収集の徹底・リサイクルへの転用

事務所で13種類、工場で15種類のごみ箱・回収ボックスを設置し、分別収集の徹底を図っています。

分別した廃棄物のうち、リサイクルできるものについては、処理業者にリサイクル処理を委託しています。

主要な環境活動のご紹介（本社事務所編 ②）



コピー用紙の裏紙使用

裏面白紙の使用済みコピー用紙を入れる専用ボックスをプリンター、コピー機周りの設置し、文書のプリントアウトやコピーをする際に裏紙を使用するよう促進しています。

周辺地域清掃活動の促進

エコアクション21の取組を開始以来、毎月欠かさず会社周辺の清掃活動を実施しています。



その他（環境配慮商品の販売：取組項目外） （エネファーム、エコジョーズの販売）

大阪ガス住設機器特約店として、都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることで発電し、その廃熱で作ったお湯を給湯や暖房に使える家庭用ガスコージェネレーションシステム「エネファーム」や通常は捨てられる排熱をお湯づくりなどに再利用する高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しています。



エネファーム



エコジョーズ

4. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

取組計画	結果	評価、今後の取組
電力使用量の削減	削減計画達成率＝126.7% 一部蛍光灯をLED照明に変更した効果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
都市ガス使用量の削減	削減計画達成率＝119.9% 空調設定温度の厳守を周知徹底した効果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
ガソリン消費量の削減	削減計画達成率＝110.9% 公共交通機関の利用を呼び掛けた効果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
CO ₂ 排出量の削減	削減計画達成率＝138.8% CO ₂ 排出量算出に係るすべての項目で目標値をクリアできた。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
一般廃棄物単純焼却量の削減	削減計画達成率＝155.8% 工場から排出される廃棄物、現場から持ち帰る廃棄物が減少した。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
水使用量の削減	削減計画達成率＝138.3% 植木への散水を必要最低限に留めたことにより目標値をクリアできた。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
コピー用紙購入量の削減 管理	削減計画達成率＝105.0% 会議資料の両面、Nアップ印刷を励行した結果が出た。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
コピー用紙購入量の削減 ガス	削減計画達成率＝161.3% 導管工事の減少に伴いPR用紙の印刷枚数も減少した。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
コピー用紙購入量の削減 プラント	削減計画達成率＝150.6% 客先提出書類のデータ化が進んだ結果、印刷枚数が減少した。。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
化学物質の適正管理	達成率＝100.0% PRTR法の要求事項を満たしていることを確認した。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。
環境配慮商品購入比率の向上	達成率＝91.8% 今年度より集計媒体を変更し、環境商品に該当しない物品(弁当等)の購入が増えた。	[評価：×] 購入担当者が購入物品のチェックを厳格に行う。
周辺地域清掃活動の推進	達成率＝100.0% 事務所清掃日に合わせて実施することにより、習慣として行っている。	[評価：○] 今後も現在の取組を継続する。

注) 削減計画達成率(%)＝{1+(1-実績/目標)}×100

5. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1) 主な法規制等と遵守状況の確認及び評価結果

法規等の名称	遵守すべき事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	産業廃棄物マニフェストの返送管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 廃棄物処理委託契約書・許可証の確認 産業廃棄物置場の管理基準の遵守(水銀使用製品産業廃棄物置場の確保と掲示含む)	適
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	家電リサイクル券の受取確認	適
消防法	防火管理者の設置 消防設備点検の実施	適
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	簡易点検の実施・記録・保存 専門家による定期点検の実施・記録・保存 フロン類を使用する特定製品の廃棄時に登録事業者へフロン類の回収を委託(引取証明証、回収証明証の受取確認)	適
地球温暖化対策の推進に関する法律	エコアクション21環境経営システムの運用によるCO ₂ 排出量削減等	適
資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)	廃パソコンの再資源化回収業者への引渡し	適
騒音規制法	規制規準を遵守する。届出施設の届出(大阪府条例)	適
振動規制法	規制規準を遵守する。届出施設の届出(大阪府条例)	適
化学物質排出把握管理促進法(PRR法)	化学物質使用量の把握	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	フォークリフトへの基準適合ラベル貼付と定期検査、日常点検の実施	適
労働安全衛生法	化学物質リスクアセスメントの実施	適
大阪府生活環境の保全に関する条例	条例に基づく届出施設の届出(騒音、振動)	適
Daigasグループ環境行動基準	環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供(環境配慮型商品の提供)	適

* 環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はなかった。

2) 違反・訴訟等の有無

自社における環境関連法規への違反はありません。

過去3年間、関係当局から違反等の指摘はありません。

訴訟等もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

〔環境方針について〕

現時点では変更の必要なし。

当社の環境経営の基本と位置付け、今後の活動を実施すること。

〔組織について〕

現時点では変更の必要なし。

必要があれば組織の改正を行い、環境への取組を実施するために効果的な実施体制の構築を目指すこと。

〔環境目標とその実績について〕

「環境配慮商品購入比率の向上」の項目について、目標値をクリアすることができなかった。

原因としては、今年度より集計媒体をビズネットからアスクールに変更したことに伴い、弁当や什器備品といった環境商品に該当しにくい物品にまで購入範囲が広がったことが考えられる。

今後は、各フロアの購入担当者が購入物品のチェックを厳格に行うことにより、環境商品の購入比率を向上させること。

〔環境関連法規等への対応について〕

当社の事業に係る環境関連法規については、確実な対応がなされている。

今後も、改正及び新たに交付される環境関連法規について情報を収集すること。

〔今後の環境活動について〕

活動開始から10年以上が経過し、日々の節約による環境負荷低減に限界を感じていたこともあり、3月下旬に、事務所建屋の照明器具を全面LED照明に変更した。

今後も、設置後16年を超えた空調設備の入替等、大規模な設備改善を推進し、環境負荷の低減を目指していきたい。

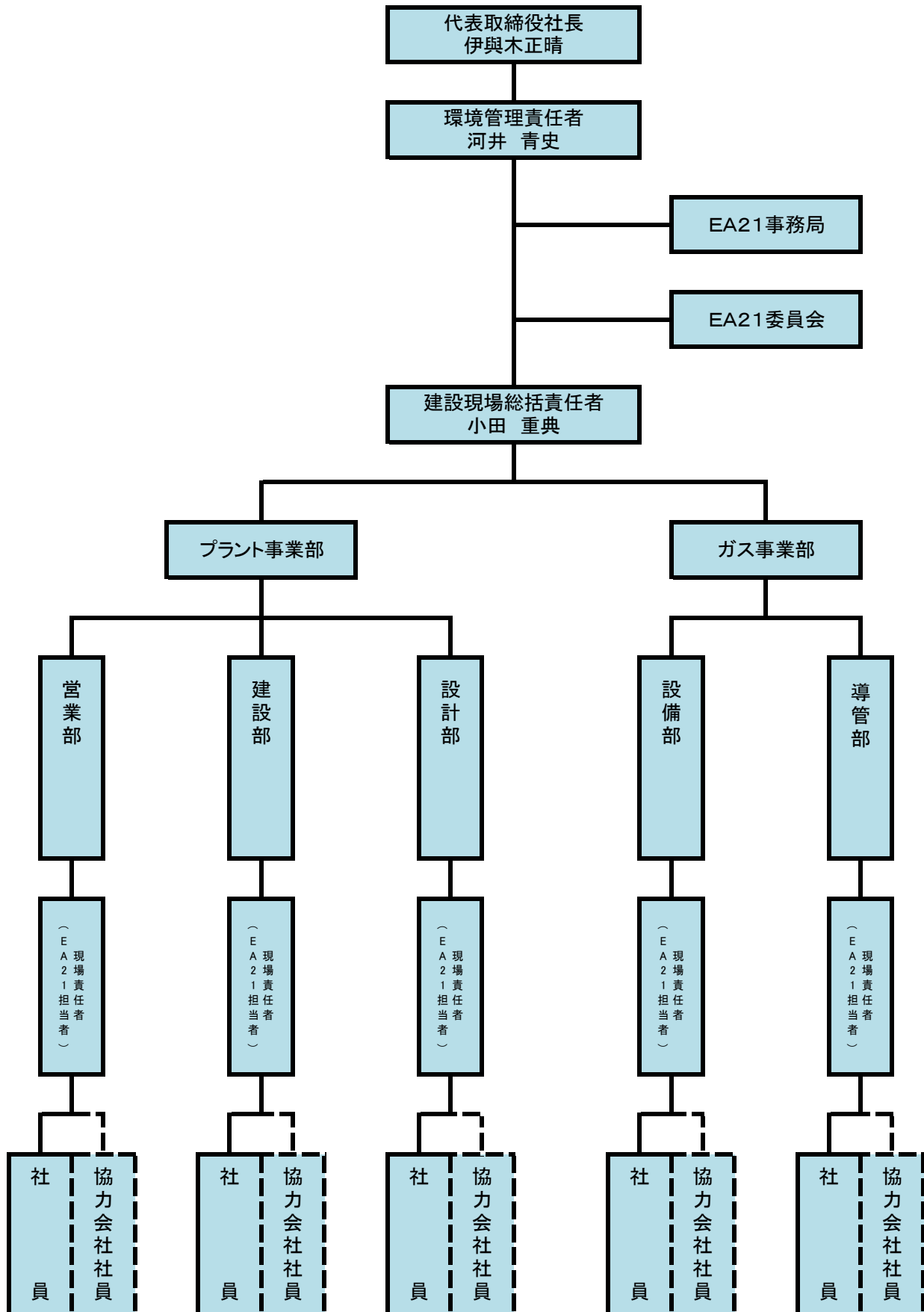
以上

平成30年度 環境活動レポート

《建設現場》

(平成30年4月～平成31年3月)

1. 大阪装置建設株式会社(建設現場) EA21組織表



2. 環境目標とその実績等

①環境負荷低減目標(環境目標設定)とその実績値

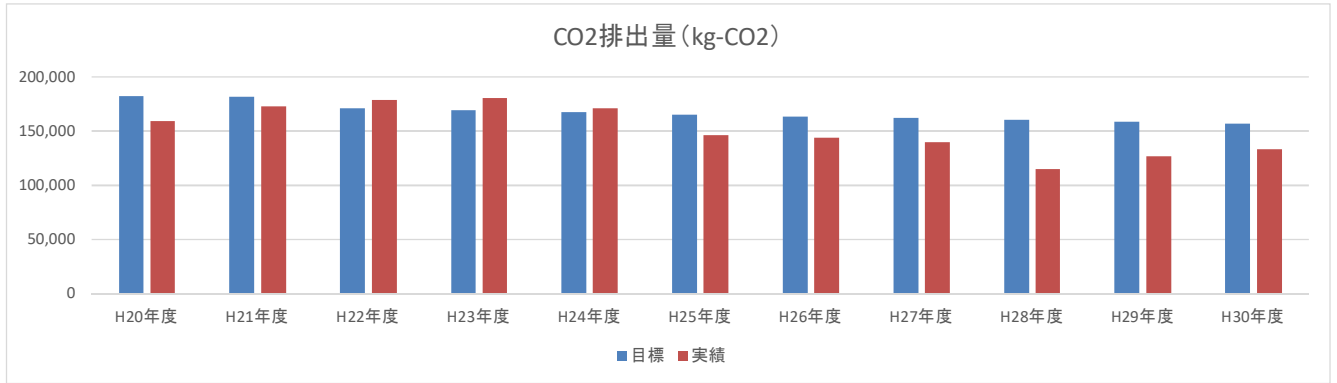
項目	平成29年度 実績	平成30年度 目標	平成30年度 実績	令和元年度 目標	令和2年度 目標	令和4年度 目標
ガソリン消費量の削減 (L)	48,772	64,341	48,292	63,634	62,927	61,512
軽油消費量の削減 (L)	5,185	5,648	8,223	5,586	5,524	5,400
CO ₂ 排出量の削減 (kg-CO ₂)	126,642	157,055	133,384	155,329	153,603	150,152
産業廃棄物排出量の削減 (t) ※1	2,291	3,097	714	3,064	3,032	2,967
環境配慮型設備工事の推進(kW) ※2	0	1,110	7,300	1,120	1,130	1,150

※1 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

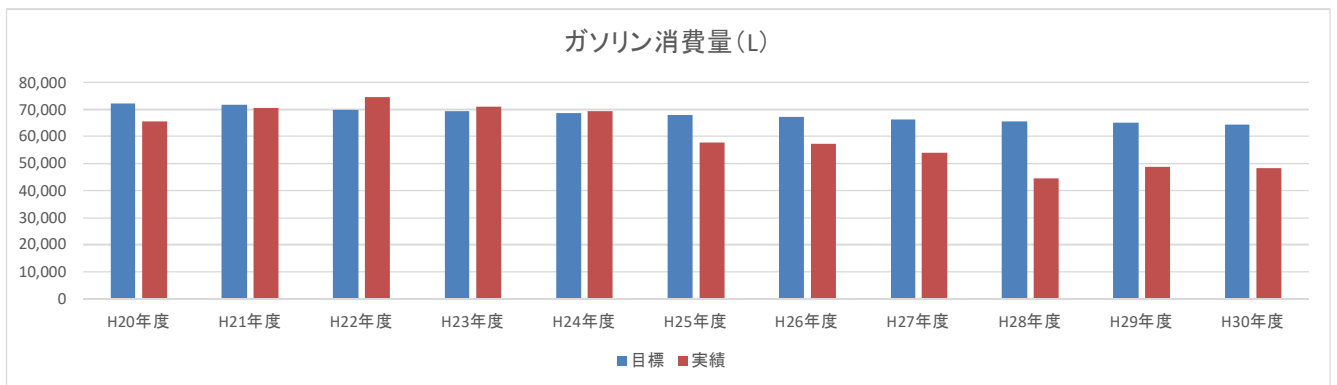
※2 コージェネレーション設備定格発電出力

②主要な環境負荷排出量

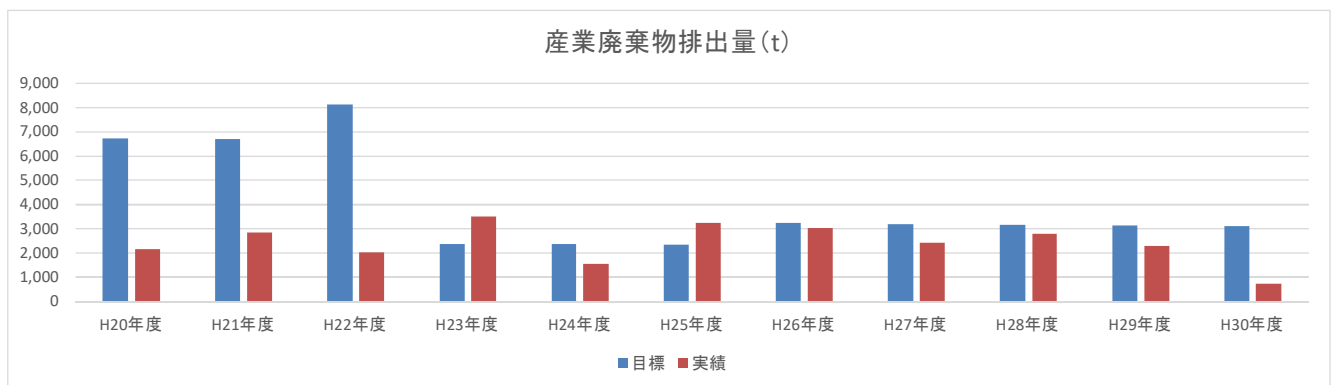
項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	目標	182,689	181,762	170,862	169,136	167,410	165,684	163,959	162,233	160,507	158,781	157,055
	実績	159,596	172,588	179,070	180,918	170,880	146,187	144,238	139,776	115,438	126,642	133,384



項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
ガソリン消費量 (L)	目標	72,239	71,872	69,997	69,290	68,583	67,876	67,169	66,462	65,755	65,048	64,341
	実績	65,446	70,704	74,489	71,012	69,403	57,818	57,347	54,084	44,528	48,772	48,292



項目		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
産業廃棄物排出量 (t)	目標	6,744	6,710	8,119	2,385	2,361	2,337	3,227	3,195	3,162	3,130	3,097
	実績	2,171	2,846	2,021	3,522	1,562	3,260	3,040	2,431	2,801	2,291	714



3. 主要な環境活動計画の内容

	取組項目	活動計画の内容
C O 2 の排出量の削減のために	ガソリン消費量の削減	エコドライブの徹底 車両台数の削減 低燃費車の導入
	軽油消費量の削減	エコドライブの徹底
	産業廃棄物排出量の削減 ※1	非開削工法の推進 掘削幅を可能な限り狭くする
	環境配慮型設備工事の推進 ※2	コージェネ設備工事の推進

※1 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

※2 コージェネレーション設備定格発電出力

主要な環境活動のご紹介（建設現場編 ①）



非開削工法の推進 （パイプスプリッター工法）

ガス管入替区間の両端を掘削し、発進立坑から到達立坑へロッドを挿入します。ロッドの先端にブレット（縦切りカッター）を接続し、さらにその後新しいPE管を接続して発進立坑側に引き戻すことにより、ブレットがネジ鋼管を縦切り、拡径し、PE管を引き込み入れ替えます。

非開削工法の推進 （コンパクトモール工法）

発進立坑側にコンパクトな推進機を据付け、ロッド回転推進により到達側立坑まで推進させます。推進到達後、そのロッド先端にPE管を接続しロッドを引き戻しながらPE管を引き込みます。



非開削工法の推進 （SPモール工法）

電動式SPモール本体、電動油圧ポンプ、推進ロッド等の簡単な装置で行える非開削敷設工法です。PE管引込み工程では、ロッドの先端にPE管を接続し、電動式SPモール本体を引き込み方向に置き換え、到達立坑から発進立坑までPE管を引き込みます。

主要な環境活動のご紹介（建設現場編 ②）



掘削幅を可能な限り狭くする

掘削による土砂やコンクリートがらの排出量を抑えるために、可能な限り掘削幅を狭く施工しています。

低騒音機器の使用

施工時に使用する機器等の騒音について、周辺住民への影響を緩和するため、低騒音機器を使用しています。



コージェネレーション設備の施工

クリーンな天然ガスを用いて発電し、その際に発生する排熱を冷暖房や給湯などに無駄なく利用する省エネルギーシステムであるコージェネレーション設備の設計・施工を行っています。



4. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

取組計画	結果	評価、今後の取組
ガソリン消費量の削減	削減計画達成率=124.9% エコドライブの励行を呼び掛けた効果が出た。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
軽油消費量の削減	削減計画達成率=54.4% 経費節減のため、資機材運搬を自前で行ったことで消費量が増えた。	[評価:×] エコドライブの励行や荷物の軽量化を心がけ、燃費向上を図る。
CO ₂ 排出量の削減	削減計画達成率=115.1% 軽油消費量が増加したが、ガソリン消費量の減少によりCO ₂ 排出量の目標値をクリアした。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
産業廃棄物排出量の削減	削減計画達成率=176.9% 部門廃止に伴い工事数が減少し、廃棄物排出量も減少した。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。
環境配慮型設備工事の推進	達成率=657.7% 合計3件のコージェネ設備工事を完工した。	[評価:○] 現在の取組みを継続する。

注) 削減計画達成率(%) = {1 + (1 - 実績 / 目標)} × 100

5. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1) 主な法規制等と遵守状況の確認及び評価結果

法規等の名称	遵守すべき事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	産業廃棄物マニフェストの返送管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 廃棄物処理委託契約書・許可証の確認	適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	発注者への報告 分別解体の徹底により、種類に応じた最終施設への適正な搬出	適
道路法	基準に適合した埋め戻しの実施による道路環境保全	適
地球温暖化対策の推進に関する法律	エコアクション21環境経営システムの運用によるCO ₂ 排出量削減等	適
騒音規制法	規制規準を遵守する(建設工事に伴う騒音対策)	適
振動規制法	規制規準を遵守する(建設工事に伴う振動対策)	適
Daigasグループ環境行動基準	環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供(掘削残土削減: 非開削工法の推進)	適

* 環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はなかった。

2) 違反・訴訟等の有無

自社における環境関連法規への違反はありません。
過去3年間、関係当局から違反等の指摘はありません。
訴訟等もありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

〔環境方針について〕

現時点では変更の必要なし。

当社の環境経営の基本と位置付け、今後の活動を実施すること。

〔組織について〕

現時点では変更の必要なし。

必要があれば組織の改正を行い、環境への取組を実施するために効果的な実施体制の構築を目指すこと。

〔環境目標とその実績について〕

「軽油使用量の削減」の項目について、目標値をクリアすることができなかった。

これまで遠隔地現場への資機材運搬を運送業者に委託していたが、経費削減の観点から、社有の4tユニック車や3tトラックを使い自前で行ったことが原因と考えられる。今後は、エコドライブの励行や積荷の軽量化を心掛け、燃費向上を図ること。

〔環境関連法規等への対応について〕

当社の事業に係る環境関連法規については、確実な対応がなされている。

今後も、改正及び新たに交付される環境関連法規について情報を収集すること。

〔今後の環境活動について〕

昨年度に目標値をクリアできなかった「環境配慮型設備工事の推進」について、今年度は大幅に目標値を上回ることができた。「環境配慮型設備工事の推進」の活動計画として掲げているコージェネ設備工事は、当社の主力営業種目であり、省エネ・省CO2社会構築に貢献できる事業活動でもあるので、引き続き積極的に推進していきたい。

以上